

## 第1回 ひまわりネットワーク 挨拶

皆様こんにちは。

門司警察署長の谷山でございます。

本日はご多忙中のところ「ひまわりネットワーク」にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

栄えある第1回会合の議題は、「認知症を有する徘徊高齢者対策」と「通学路の交通事故抑止対策」の2点であります。

いずれの議題も少子高齢化が著しく進む門司区が抱える重要な問題であろうかと思えます。

これまでは、このように地域が抱える問題点に対しましては、認知した行政機関がそれぞれの立場で対応する、又は各機関の担当者同士が連携して問題点に対応するという手法で対処してまいりましたが、これからは門司区役所様との間で締結した協定に基づく「ひまわりネットワーク」の場でみんなで知恵を出し合い、関係機関が協力して問題点に対処することが可能になりました。

今日はこの場をお借りしまして、私からこの協定の本質についてのお話をさせていただきます。

協定の正式名称は「災害、事故及び犯罪等から地域住民を守るための協定」であります。

門司区は三方を海に囲まれ山間部が多い地勢でありますことから、海沿いや山へと続く傾斜地に住宅が立ち並んでおり、住民の年齢層も北九州市内で最も高齢化が進んでいるという特徴がありますことから、これは決して災害、事故及び犯罪に強い街とはいえないわけであります。

人命に直結するこれらの災害等はいつ何時発生するか分かりません。

災害等を敵に例えるなら、この強大な敵に対し行政、警察及び地域住民が「ひまわりネットワーク」を活性化することにより平素から備え、問題発生の際は一致協力して解決に当たろうというのが協定の趣旨であります。

ですから、本日お集まりの行政機関の皆様と警察そして地域住民はワンチームの関係であり、互いに尊敬と感謝の気持ちを忘れてはならないと強く思うのであります。

その尊敬と感謝の気持ちから派生する相互扶助の精神こそが協定の本質であり、強大な敵に対抗する力の源だと信じております。

本日は最初の会合ですので、私から協定に込められた思いを述べさせていただきました。

限られた時間ではありますが、有意義な会合にさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

